
共同研究参加大学募集要項

研究課題「運動部活動指導の実態調査と指導者養成」

1. 研究の趣旨

本連合は、スポーツ指導における体罰・暴力をはじめとする人権侵害を根絶させ、日本国民が普くスポーツ文化を享受することを目指しています。文部科学省が示した「運動部活動での指導のガイドライン」（2013年）に準拠したチェックリストを作成し、本連合のウェブサイトで公開しています。つきましては、このチェックリストを利用した2つの共同研究に参加する大学を募集します。

いくつかの大学やマスコミの調査によりますと、体罰・暴力を受けた経験のある学生ほど体罰・暴力を容認する傾向があることが示されています。大学運動部での人権侵害を根絶させるためにも学生の意識や実態を把握しておくことは必要ですし、学生が将来、運動部などの指導者となることを考えると、学生時代からこの問題について正しく認識させておくことが重要です。多くの会員の参加を期待します。

2. 研究期間

- 研究1（質問紙調査） 平成25年9月1日から10月31日までの2ヶ月間。
研究2（ワークショップ） 平成25年9月1日から11月30日までの3ヶ月間。

3. 参加条件

- 参加希望者は、本連合の会員（専任の教職員あるいは研究員）であること。
*個人会員の場合は研究実施校での許可を取ってください。
- 研究1か2のどちらか一方、あるいは両方に参加できます。
- 研究経費（質問紙印刷や送料など）は参加者負担となります。
- 研究結果を大学紀要などで発表することは差し支えありません。

4. 研究1（質問紙調査）の実施方法

- 質問紙を本連合ウェブサイト（<http://www.daitairen.or.jp>）よりダウンロードし、必要部数を印刷し、実施してください。
（質問項目の追加は自由です。ただし、その場合はご自身で集計してください。）
- 回答済み質問紙は下記（6）まで送付してください。
（送料は負担してください。回答済み質問紙の返却を希望する場合は返信用封筒もご用意ください。）
あるいは、ご自身で回答データを入力し、それを送ってくださっても結構です。
- 回答の入力と集計結果はメール添付でお知らせしますので、学生指導にご活用ください。

- (4) 参加大学全ての回答を集計した結果もお知らせします。そして、この結果は、大学体育研究フォーラムや機関誌『大学体育』などで報告します。その際には、共同研究参加大学一覧も掲載します。
- (5) 参加申込方法
メールで以下の事項をお知らせください。
申込者氏名、メールアドレス、所属機関名・住所、本連合会員種別、実施予定時期
- (6) 参加申込・回答送付・お問い合わせ先
北徹朗（武蔵野美術大学） <kita@musabi.ac.jp>、

5. 研究2（ワークショップ）の実施方法

- (1) ワークショップは、運動部で指導的な立場にある学生や将来、運動部の指導者になりたいと考えている学生（教職課程など）を対象として、行うものです。
- (2) 「ワークショップ開催要項」を本連合ウェブサイト (<http://www.daitairen.or.jp>) よりダウンロードし、質問紙を必要部数印刷し、実施してください。
- (3) ワークショップの「実施報告書」（別紙参照）を下記まで送付してください。
- (4) 参加大学による実施報告会・検討会を大学体育研究フォーラム（2月開催、武蔵野美術大学）で行います。（参加は義務ではありません。）
- (5) 参加大学全ての報告をまとめた結果をお知らせします。そして、この結果は、大学体育研究フォーラムや機関誌『大学体育』などで報告します。その際には、共同研究参加大学一覧も掲載します。
- (6) 参加申込方法
メールで以下の事項をお知らせください。
申込者氏名、メールアドレス、所属機関名・住所、本連合会員種別、実施予定時期
- (7) 参加申込・報告書送付・お問い合わせ先
高橋宗良（杏林大学） <muneyosi@ks.kyorin-u.ac.jp>

以上